

令和4年度第2回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

開催日時	令和5年1月27日（金）10時から12時まで
開催場所	高知市本町5丁目6-42 高知会館 3階 飛鳥の間
出席委員	田中 委員長 山本 副委員長 稲田 委員 奥村 委員 近藤 委員 中村 委員 渡邊 委員
次 第	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木部副部長挨拶 ・委員長、副委員長選出 <p>2 議事</p> <p>(1) 抽出事案の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知港海岸（新田町地区）高潮対策工事 ・県道春野赤岡線（物部川大橋）橋梁修繕工事 ・国道197号外19路線 地域の安全安心推進工事 ・県道足摺岬公園線 道路災害対策工事 ・和食ダム 建設工事資材単価調査委託業務 ・仁淀川外17河川 地域の安全安心推進維持委託業務 <p>(2) 令和5年度入札・契約制度改正について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 次回の開催日程について</p> <p>(2) 抽出委員の選定について</p> <p>4 閉会</p>

<委員長・副委員長選任について>

- ・委員からの推薦がなかったため、事務局から田中委員長・山本副委員長を提案し、了承された。

<抽出事案の審議>

意見・質問	回答
<p>高知港海岸（新田町地区）高潮対策工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ積算方法であるため入札金額が同額になると思うが、複雑な工事で、技術力も必要であるとしても、それでも入札金額が同じになるものなのか。 ・事後審査は、評価項目の内容が事前に申告した内容と一致していることを確認し、審査、落札候補者を決定するのか。 ・コリンズのデータに、「実績請負金額」と、「施工中金額」があるがこの違いはなにか。 また、「実績請負金額」は、元請けだけか、下請け業者も登録しているか。 ・国土交通省（四国地表整備局）が総合評価方式で発注した工事では、くじ引きで落札者が決まったという事例は1件も無いのではないかと。それに対して県はどのように考えるか。 ・くじ運で落札が決まるのは、事業者にとってはつらいものがあるのではないかと。くじ引きにならないために、例えば、元請けでの施工の比率が高いところを優先してはどうか。今後の高知県の災害対 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な基準については、公表しており、基準書に載っていないような歩掛かり等は見積を公表しているため、積算した内容の再現はしやすいことが考えられる。 ・入札金額に対する内訳書を確認し、積算に不自然性がないことを確認できれば落札候補者となり、その後、書類の審査をするもの。 ・「実績請負金額」の方は工事が完了したもので、「施工中金額」は現在進行中の工事を集計したもの。「実績請負金額」で、実績があるかどうかを確認している。 コリンズへの登録は元請けのみ登録するもの。元請けと共同企業体（JV）の構成員で20%以上の出資比率のものを実績として認めている。 ・県では、評価値の少数点第5位以下は切り捨てているため、億を超える工事では、金額が万単位で違っていても、同じ評定点になる場合があり、その影響もあるのではないかと考えている。技術提案を求める工事では、バラつきが出ると考えられる。 ・元請けの完成工事高については、入札参加資格で評価しているが、総合評価でも評価することは、今後の課題だと考える。 技能者の育成に尽力している事業者

<p>応などを考えると、元請け人にどれだけの機動力があるのか、これから大事になってくると思う。</p> <p>また、建設会社が存続するためには、技能者を継続的に確保できるか、育成できるか、地方の建設業がしっかりとした役割を果たしていくためには政策誘導が大事と考えるが、県はどのように考えるか。繰り返しになるが、くじ引きによる落札を減らすよう望む。</p>	<p>を評価することも、ひとつの考え方とは思いますが、今後検討していく課題だと考える。</p>
<p>県道春野赤岡線（物部川大橋）橋梁修繕工事について</p> <p>国道197号外19路線 地域の安全安心推進工事について</p> <p>県道足摺岬公園線 道路災害対策工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじで落札者が決まることに関して、他の事業者はどのように思っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業者は仕方がないという感じである。
<p>和食ダム 建設工事資材単価調査委託業務について</p> <p>仁淀川外17河川 地域の安全安心推進維持委託業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積算能力が上がると企業の評価が意味を持ってくるが、過去の実績を重視しすぎると、実績の無い事業者は成長の余地が無くなる。 	
<p>全体を通しての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後出てくるであろう様々な工事に関して、公表価格をどのように算定していくのか。失格や、低い入札金額に対して、どのように事前公表価格や最低制限価格を考えていくのか。 ・入札率はチェックしていると思うが、入札金額と予定価格との価格差が、あまり 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名の場合は最低制限価格を下回ると品質を確保できないおそれがあるということで失格となる。調査基準価格については国の算定基準を準用し、運用している。 ・工事と委託は分けて考える必要があり、一般競争入札の工事において5億

<p>にも大きな場合も、チェックなどをした方が良いのではないか。</p> <p>・くじ引きを減らすことで、談合防止につながる。</p>	<p>円までは企業評価型、5億円を超えると施工計画を求めており、そのあたりのロットの工事が圧倒的に多く、1件1件を検討するのは限界がある。工事と委託でどこに線引きをするのかというのは難しい問題であるため、今後の課題である。</p>
---	---

<次回の開催日程について>

- ・令和5年8月実施を予定し、詳細は今後協議することで了承された。

<次回の抽出委員の選出について>

- ・次回の案件の抽出委員は、従来からの50音順による選出により、奥村委員とすることとし、了承された。